

コロナ禍で明らかになった いま、大切な子供教育

北川村教育モデル

1

コロナ見えてしまった日本の脆弱性

- 医療体制
 - ・ 感染症専門家/感染症専門病院の不足からの初動の遅れ
 - ・ 医療設備/医療スタッフの不足による医療崩壊寸前
 - ・ 医療崩壊レベルの低さ、一般病院の経営難
- 組織の労働体制
 - ・ リモートワーク/在宅勤務のバタバタでデジタルワークには程遠い
 - ・ 印鑑出勤/書類確認出勤
- 国・自治体のシステム
 - ・ 使い物にならないマイナンバーカードとシステム、ICT後進国
 - ・ 特別定額給付金の支給遅れと自治体への負担
 - ・ 接触確認アプリがようやくリリースか？

2

アジアで惨敗のコロナICT対応力

- **台湾**
 - ・ 衛生当局の高官がソーシャルメディアから感染症を察知(昨年の大晦日)
 - ・ 健康保険カードや在庫マップでマスク不足を回避、買い占めなし
 - ・ 入国検疫システムを3日で開発、クルーズ船の下船乗客の追跡も
- **韓国**
 - ・ 感染者の移動経路や濃厚接触者を割り出して地図に表示、スマホで確認
 - ・ 住民登録証に紐付いた情報でマスクの購入履歴も管理
- **中国**
 - ・ データをもとに感染の危険性をスマホに赤・黄・青で確認、早期に隔離
 - ・ オンライン買い物で実店舗での感染拡大を防止
 - ・ 武漢ではロボットが配送

3

中国の経済回復力と人材力

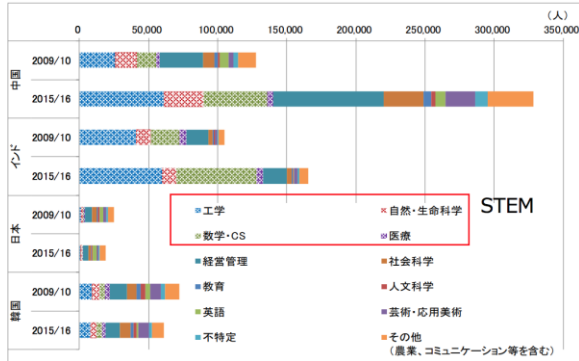
- **屋台経済**
 - ・ コロナ対策でキッチンカーが爆発的に売れている
- **オンライン経済・デジタル経済**
 - ・ オンラインショッピングが拡大、6/18のイベントでは1日5兆円以上
 - ・ ライブコマースという新しい形態がブーム(Youtube+ジャパネットタカタ)
 - ・ 支えているのは大手企業の仕組み(アリババとかテンセントなど)
- **健康SIM**
 - ・ 大方の中国人の認識は「コロナは終わっている」
 - ・ 感染者や個人の行動が追跡されて安全管理をしている
 - ・ 地図で危険エリアを表示したり、公共交通でアラートが出る

4

中国の経済回復力と人材力

● 海外留学の差

米国に留学している学生の出身国別・専攻別人数



中国から米国への留学生の半数近くがSTEM (Science, Technology, Engineering and Mathematics) 分野を専攻しており、2009/10年は中国人留学生の45.6%、2014/15は同42.7%が同分野を専攻。

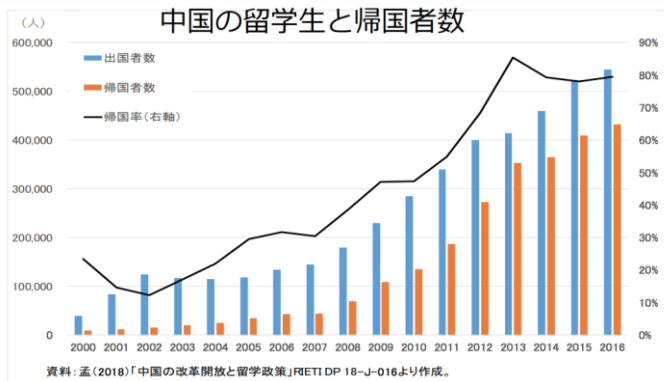
出典: METI通商白書2018

資料: Institute of International Education(2017)より作成。

5

中国の経済回復力と人材力

● 海外留学からの帰国者の推移



2000年以降、中国人の留学生数は右肩上がりで増加していったが、2008年までは留学生の帰国率は30%以下と低かった。しかし、中国政府は、ハイレベルの留学人材を確保するための帰国促進政策を累次打ち出し、その効果もあって帰国率は以後急速に高くなり、2013年には85%に。

出典: METI通商白書2018

資料: 孟(2018)「中国の改革開放と留学政策」FRIET DP 18-J-016より作成。

6

全てが人材問題

- 人は石垣
 - ・ 人は石垣、人は城、人は堀、情けは味方、仇は敵なり～武田信玄
 - ・ 山は樹をもって茂り、国は人をもって盛んなり～吉田松陰
 - ・ 企業は人なり～松下幸之助
- 学習をしなくなった日本
 - ・ 入学に厳しく卒業に甘い大学・大学院教育。社会に出たら無勉強
 - ・ より高度の教育を求めて、留学にもチャレンジしない
- 体験教育の大切さ
 - ・ 知識偏重教育で社会で臨機応変に活躍できる人を排出できない
 - ・ 圧倒的に少ない演習や実験などの体験教育、スキルが身に付かない

7

北川村が目指す子供教育

- 優れた15年連続教育
 - ・ 15年後の人物像を定めた長期視野での育成ができる
 - ・ 小中一貫はたくさんあるが、保小が繋がる教育システムは秀逸
 - ・ 保小が繋がることで人格形成の充実が図れる
- 知識教育と体験教育のバランス
 - ・ カリキュラムを工夫して、従来の知識教育と体験教育をバランスよく
 - ・ 知識で考える力を、体験で生きる力を高めることができる
 - ・ ICTは知識より体験・実践で身につく
- 幼少期の感性教育
 - ・ 感性を磨けるのは10歳までが効果的
 - ・ 本物に触れて身につく感性、食育とアートで実現する

8

今年度、学校運営協議会で議論すべき点

- ICTを活用した教育の推進
 - ・ 学校行事や公開授業のライブ配信（保護者のライフスタイルに配慮した対応）
 - ・ オンライン授業の試行（コロナ第2波などに備えた対応）
 - ・ 外国語教育のオンライン化（ALTの補完、児童生徒が多様な人間と交流） など
- 保小中のガバナンス強化と今後の方向性
 - ・ 15年間を一体的に見渡せる教育現場人材の配置
 - ・ 保小中一体的な学びの場のあり方検討
 - ・ 北川学の今後の展開
- 食育、アート教育の充実
 - ・ 保育士の人事交流などを通じた子どもたちの自立のための食育を充実
 - ・ アート教育の充実

9

コロナ禍で地方の時代が来る

- コロナウィルスのパンデミックは長く続く
- 大きな社会異変は人々の価値観や生活観を変える
- 都市部は在宅勤務がきっかけで働き方が変わった
- 都市部での生活が貧困化することを体験した
- 多くの人々が精神的な豊かさや幸福を考え出している
- 地方へのUターンや移住を考える人が増えている
- 地方都市の不動産価格が上昇傾向を示している

新しい生活様式

ニューノーマル

新常態

10